食育の日の取組

施　　設　　名	宇和島市立二名保育園
取　組　の　名　称	やさいクイズ　１．これなーんだ！？ ２．なにいろのなかまかな！？
実　施　時　期	12 月 14 日（水） （19 日は行事があるため、日を変更しました）
取　組　内　容	【ねらい】野菜の栄養について知ろう。 【参加者】3･4･5 歳児　13 名　職員　3 名 １．紙芝居「やさいクイズ　これなーんだ！？」 キャベツ・パプリカの断面、かぼちゃ・トウモロコシのアップ、キュウリのトゲの写真から何の野菜か当てるクイズでした。パプリカ・トウモロコシ・キュウリは今年も園の畑で育て世話をしていた経験もあり、すぐに答える事ができていました。 ２．やさいクイズ「なにいろのなかまかな！？」 紙芝居に出てきた野菜を「丈夫な体を作る赤の仲間」、「体の調子を整える緑の仲間」、「力が出る黄色の仲間」にクイズ形式で分けていきました。トウモロコシは、緑と黄色に意見が分かれたので、どちらが正解かみんなで調べることにしました。 ３．まとめ 園庭の小さな畑ですが、子どもたちが相談して育てたい野菜を植え、世話をして収穫し給食時に味わっています。コロナ禍のためクッキングは野菜洗いや皮むきなどしかできていませんが、育てる中で花や葉の花の色や形にも興味を持ち、実の生長や収獲を楽しんでいます。 赤･緑･黄色の仲間分けの表は、ランチルームに貼っており、給食のメニューと合わせて意識付けできるようにしています。どんなパワーを持っているのかを知ることで、食べる意欲につなげていきたいと思います。

食育の日の取組

施　　設　　名	宇和島市立嵐保育園
取　組　の　名　称	コロナ禍でも！～五感を育てる食育～
実　施　時　期	令和４年７月 19 日
取　組　内　容	【目的】自分達の育てた野菜について詳しく知る事で、苦手な物も頑張って食べようとする意欲へと繋げる。 【対象】４・５歳児（14 名） 【内容】・給食で使う野菜を収穫 大きくて、真っ赤になってるね！ ・半分に切った断面を見せ、触り、においを嗅がせる 未満児さんも嗅いでみて・・・ 《食育集会》 ３つの栄養素と体の関係について、理解しやすいように汽車にみたて、３色をバランスよく食べると汽車は走り出すと説明しました。実際にどの食材が何色になるかを、自分達で分類してみました。 収穫した野菜はどこに入ってるかな？ 《取組後の様子》 野菜が苦手な園児もいましたが、自分達が育て収穫した物という事もあり、最後まで頑張って食べようとする姿が見られました。この体験をきっかけに、苦手な物も頑張れる気持ちが続いて欲しいです。

食育の日の取組

施　　設　　名	宇和島市立北灘保育園
取　組　の　名　称	真珠核入れ作業の見学と報告
実　施　時　期	５月１９日　木曜日
取　組　内　容	○地場産物である真珠貝の貝柱についてどのようにできていくのかを知る。

真珠を作るために貝の中に細胞と核を入れます。

・真珠を作る時に貝柱ができます。

貝を開いたり、核を入れたりする道具

細胞には赤い色をつけます。

・祖母がしている作業を見たことがある子は、話を聞きながら、経験していることを話すことができました。

○見学の様子をプロジェクターで映し出しながら、見たこと聞いたことを言葉で伝えます。